



この美しい海を埋めて良いのか？

ハーグ条約違反

沖繩戦の最終段階、米軍は住民を収容所に押し込めた。日米が共に参加したハーグ陸戦条約では占領地の住民の財産を奪うことを禁止。にもかかわらず米軍は住民の家、お墓、学校、郵便局をブルドーザーで押し潰して普天間基地とした。普天間基地はハーグ陸戦条約違反。

違反の基地の肩代わり

その代わりの基地を辺野古に作れという。これは「暴力団が住民の土地を奪って組事務所を作った。それが危ないから辺野古の海を埋め立てて新しい組事務所を作れ」と云うこと。昨年末、仲井真前知事は選挙で敗北。彼は退任直前、自らの公約を翻し「辺野古の埋

め立て」を承認。これに対し、圧倒的多数で当選した翁長知事は第三者委員会に前知事の埋め立て承認の調査を委託。その結果、数々の瑕疵、つまり、誤りがあることが判明。例えば、全国の米軍基地の四分の三が沖繩にあるのに、県内に作らなければならぬ根拠が無い。辺野古の海にジュゴンが住んでいるのに絶滅回避策が不十分等々。

埋め立て承認を取消し

翁長知事は埋め立て承認を取り消した。すると政府は行政代執行でそれを強制的に撤回させようとしている。その強権政治の中枢にいるのが私の住む横浜市南区選出の菅義偉官房長官だ。みなさんはどう思われますか？

夕陽をあび帰港



沖繩県名護市汀間^{ていま}
二〇一五年十一月

大浦湾に面した汀間漁港の防波堤の上に立った。真向かいの丘は辺野古^へ弾薬庫。核兵器が貯蔵されていたが、沖繩返還に伴い撤去されたことになっている。その左は海兵隊の基地キャンプシユワブ。前面はジュゴンの海。海底の海草にジュゴンの食み後が見つかっている。基地が返されれば美しい海は大リゾート地になる。それなのに、ここに海面上十メートル迄土砂を積み、滑走路が二本、四万トン級の強襲揚陸艦が接岸できる海兵隊基地を作ると云う。沖のオレンジのフーロートフェンスは埋め立て工事に抗議する船の進路を阻む。日没時刻は横浜より一時間位遅い。夕陽をあびながら、抗議船が港に向かっていた。